

令和元年度 第10回全体庁議（11月11日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(18) 「おびひろ上下水道ビジョン」(2020-2029)(原案)について [上下水道部]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

公営企業経営審議会の答申を踏まえて、上下水道事業の将来の方向性を示す基本的な指針として策定した「おびひろ上下水道ビジョン」(2020 - 2029)の原案について、2019(令和元)年11月21日の建設文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

第1章 策定の趣旨と位置づけ

今後の人口減少・水需要の低下に伴う料金収入の減少や、老朽化施設の増加のほか、災害対策などの課題に対処するため、上下水道事業の将来の方向性を示す基本的な指針として、現行ビジョンの終了に合わせ策定するもの。

国の上下水道ビジョンなどを踏まえ、「第七期帯広市総合計画」に即して策定し、計画期間は2020(令和2)年度からの10年間とし、ビジョンに大きな影響が生じた場合には、必要に応じて見直しの検討をする。

第2章 上下水道事業の概要

1. 沿革、2. 施設の概要、3. 料金・使用料体系、4. 組織

第3章 上下水道事業の現状と課題

1. 水需要の低下、2. 施設の老朽化、3. 災害対策、4. 人材育成と技術の継承、5. 財務状況

第4章 基本理念・目指すべき方向・目標設定

課題に対処し、市民に信頼される公営企業として、上下水道の機能を次世代に引き継いでいくため、ビジョンの基本理念を「未来につなぐ 信頼される 上下水道」とし、3つの視点「安全」・「強靱」・「持続」という目指すべき方向を定める。

また、基本理念の具現化を評価するため、「水道管路の耐震適合率」及び「雨水整備率」の指標を定め、目標値を設定する。

第5章 施策の概要

基本理念に基づいた7つの基本方針を、1. 水道水源の保全、2. 施設の機能保全、3. 災害対策の強化、4. 環境負荷の軽減、5. 利用者サービスの向上、6. 組織力の向上、7. 財政基盤の強化 とし、それぞれに関係する17の実施策を定める。

第6章 収支計画

水道事業、下水道事業、簡易水道事業、農村下水道事業の、2020(令和2)年度からの10年間の収入、投資、収支見通しを作成する。

第7章 フォローアップ

PDCAサイクルを活用し、毎年度、目標や施策の実施状況を検証・点検しながら、実施手法の改善や見直しなどに反映していく。

■ 今後のスケジュール

今年度の計画策定に向けて作業を進める。

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| ・ 2019(令和元)年11月 | 建設文教委員会報告(原案)
公営企業経営審議会報告(原案) |
| ・ 2019(令和元)年11月～12月 | パブリックコメント |
| ・ 2020(令和2)年2月 | 建設文教委員会報告(案)
公営企業経営審議会報告(案) |

■ 審議結果

同内容で、11月21日の建設文教委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし